精しい分布調査が行われた。私はこの段階で馬場胤義氏から隣接する佐賀県東松浦半島に本種の分布することを教えて頂き，関係記事のある文献「佐賀の植物，3巻1号，1968」のご恵贈に預った。

私は近接する両地の関係や，さらには伊万里湾の誕生前後の地史的背景などを考え合せた。その結果，残りの島々にはもち論，さらに湾の南岸にも分布の可能性があると考えた。調査を計画したが範囲が広いので，まず全域の学校や知人の協力をお願いした。まずアワコガネギクの生標本に混同しやすいシマカンギクの生標本を添え，各校区内又は各自の近くを調査して貰った。1974 年11月，鷹島町立鷹島中学校の木山徹穂教諭から，同 12 月松浦市立星鹿小学校呼子俊一校長ご両人から発見の知らせをいただいた。鷹島は直ちに調査に出かけ，12 の群落を確認した。星鹿半島の方は余日なく実地調査は本年に延したが，その代り立派な標本を届けていただいた。点検の結果一点の疑問もない立派なアワコガネキクであった。以上のことを総合すると，むしろ湾内の島々を中心にして，広く湾を囲む佐賀・長崎の両県側に広がって分布していると見ることができる。

最後に分類関係で本間，小山両博士，分布関係で馬場胤義氏，分布地の調査について呼子俊一，木山徹穂ご両人のほか多くの方々に大変お世話になりました。こゝに以上の方々に深く感謝の意を表します。　　（品川鉄摩，長崎県壱岐郡郷ノ浦町）

○アカスゲ *Carex quadriflora* (Kükenth.) Ohwi　北海道津別町の松木恒男氏の寄贈採集品中に珍しいスゲがあった。昭和 48 年 6 月 3 日採集の果実の標本である。北大でこの種の標本を調べる機会を得，その後，籾山泰一，大井次三郎両氏にもお見せして，アカスゲ *Carex quadriflora* (Kükenth.) Ohwi であることを確認した。朝鮮，満洲，ウスリーに分布，日本では北海道（北見）に稀産する。北大の標本は花のものが多く，産地は常呂郡の北見富士，留辺藥町富士見，温根湯，置戸町；網走郡津別町など，北見国中部にのみ知られているが，今回のものはそれより南部の釧路国，足寄郡，芽登温泉附近である。　　（小林純子，東京都立大学理学部牧野標本館）

○ヒロハアツイタ *Elaphoglossum tosaense* Makino　遠江京丸は天竜川の一大支流気多川の源流の山岳地帯で，静岡県の北辺，春野町北部の国有林中にあり，ここから北方へ南アルプスに連なっている。志村義雄，黒沢美房，名倉智道の 3 名はこの気多川流域のシダフロラを調査中であるが，昨年 11 月 3 日にこの両岸の岩場で 20 数株のヒロハアツイタをみつけた。この自生地帯は海抜数 100 m，秋季には早くから降霜があり，谷間の樹林は紅葉し，冬季にはしばしば積雪をみる場所である。今まで本種の最北自生地は伊豆半島の北緯 34 度 54 分であったが，今回のは 35 度線を北へ数分越えるので新北限地となる。やや亜熱帯性のこのシダが，前記のような京丸付近の自然環境条件下に自生していることは，分布上，生態上はなはだ興味深い。

（志村義雄，静岡大学教育学部）